



# 国語 追求の授業

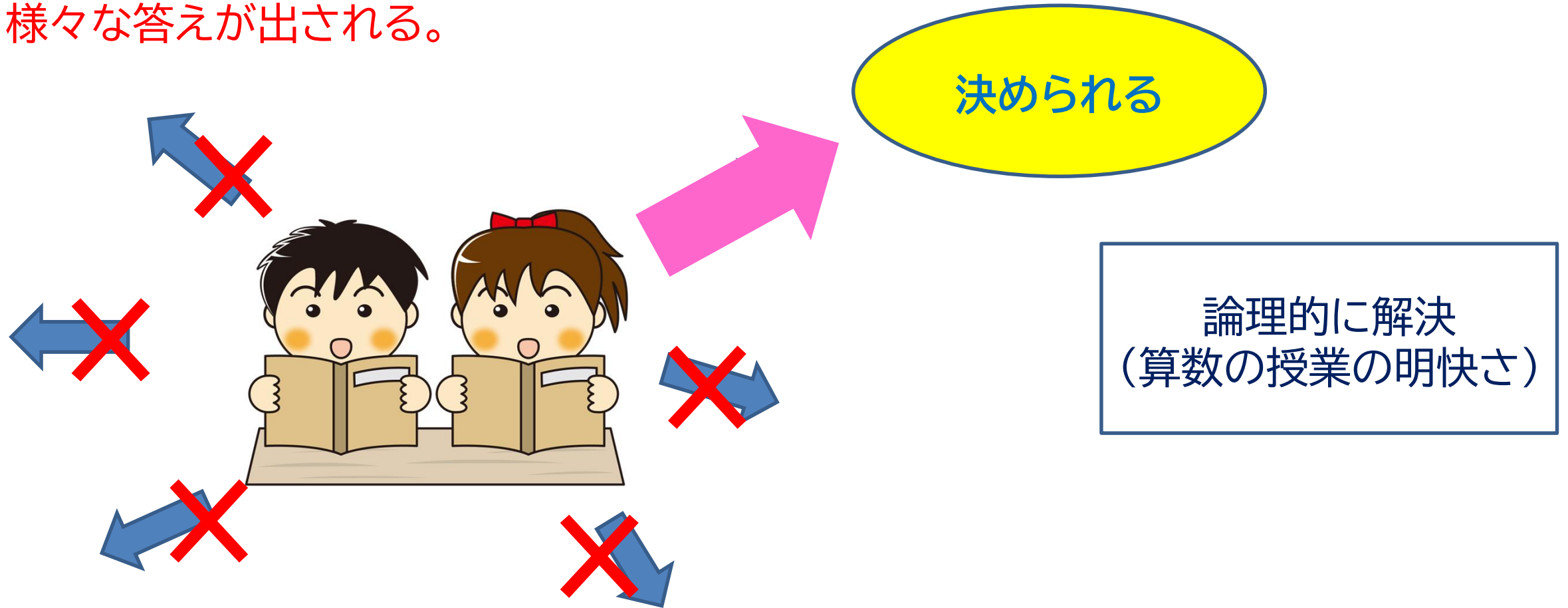
---

追求の授業をつくる会 授業づくりセミナー  
(20220811)

## 例えば、算数の場合

ある問題に対して

子どもがいろいろ考える。  
様々な答えが出される。



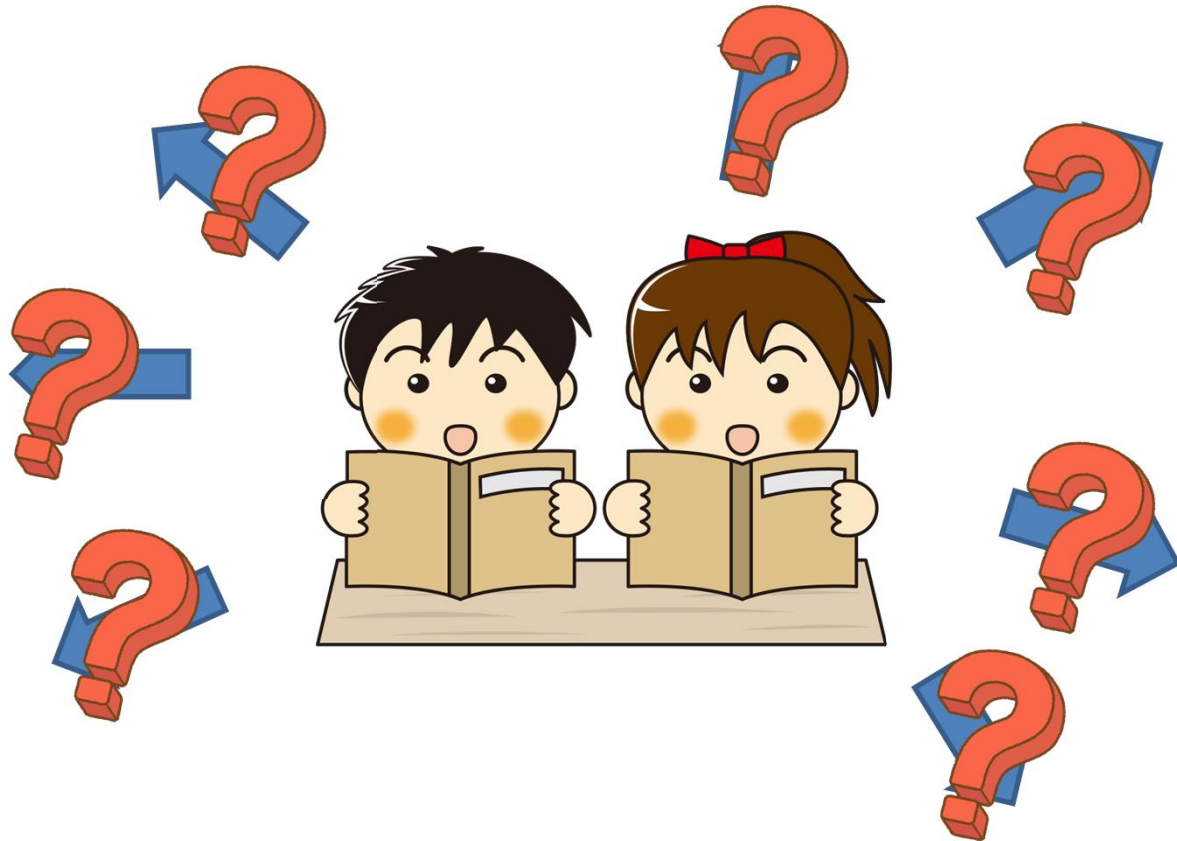
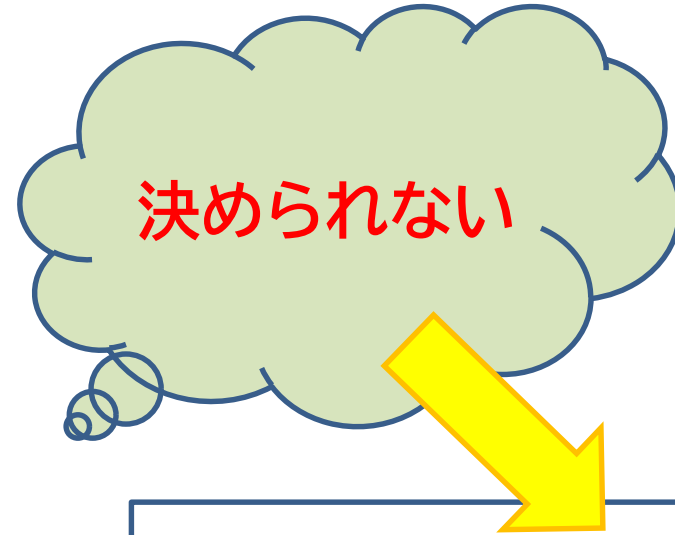
決められる

論理的に解決  
(算数の授業の明快さ)

## 多くの一般の国語の場合

ある問題に対して

子どもがいろいろ考える。  
様々な想像が出される。



論理的ではない？

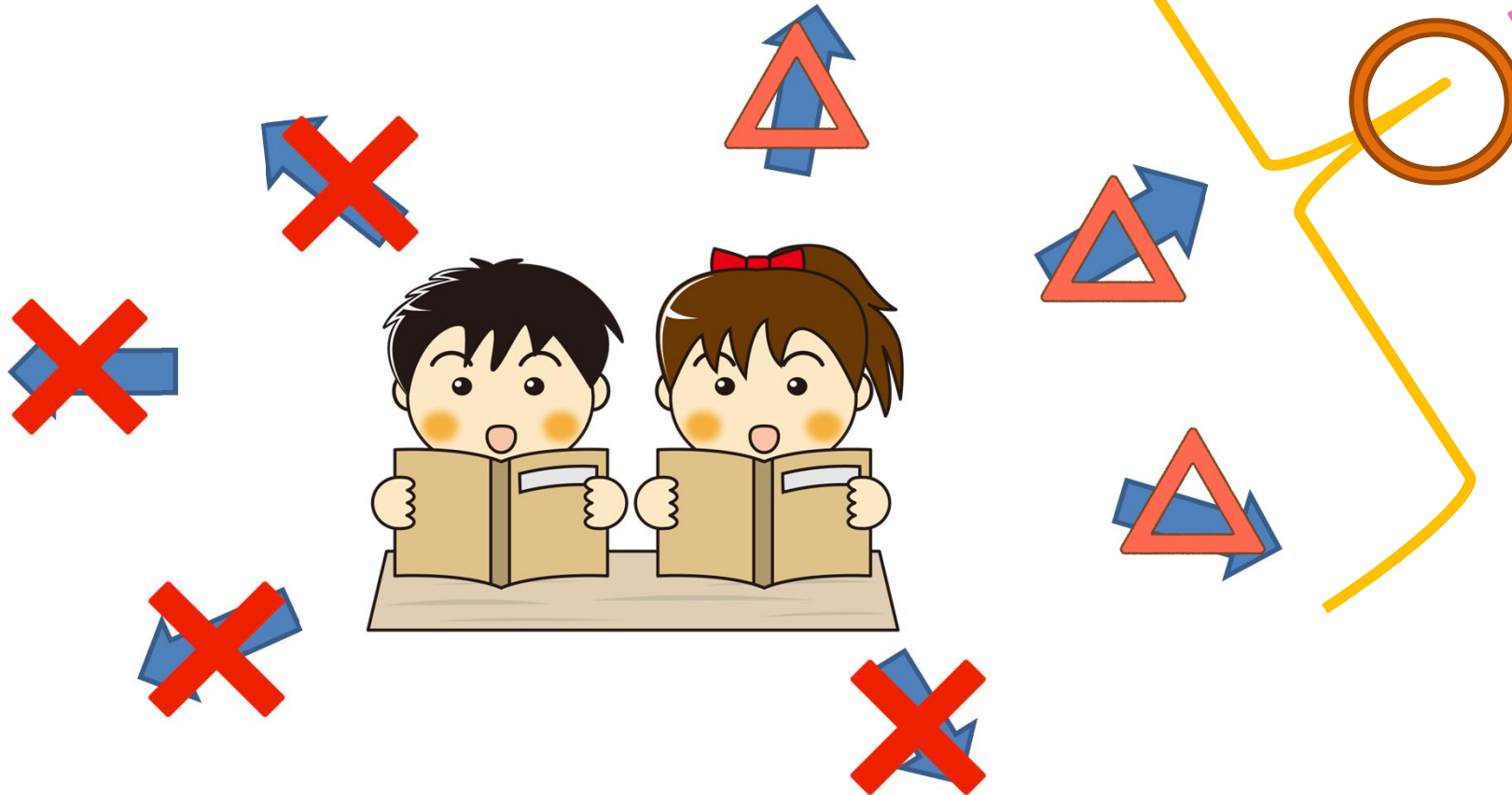
(国語の授業の難しさ)

- ※子どもが自由に読めばよい
- ※いろいろなイメージを持てばよい
- ※言語活動

# 追求の授業の場合

ある問題に対して

子どもがいろいろ考える。  
様々な想像が出される。



新しく深い  
ものの発見

思考活動を通して  
論理的に解決

# 「追求」とは

表面的な読み



教材の隠された内容に  
迫る読み

追求

根拠の  
ない空想

思い込み

印象

根拠ある  
真実

深く豊かなイメージ



## 例えば・・・

もう一けりと、ハヤブサがこうげきの姿勢をとったとき、さっと、大きなかけが空を横切りました。

残雪です。

大造じいさんは、ぐっとじゅうをかたに当て、残雪をねらいました。が、なんと思ったか、再びじゅうを下ろしてしまいました。

残雪の目には、人間もハヤブサもありませんでした。ただ、救わねばならぬ仲間のすがたがあるだけでした。

これらはただの印象。

これを、どれが真実に近いのか、また全く違った真実があるのか、それを言葉や文を吟味(論理的)しながら、探るのが「**追求**」。

をなぐり

にガン』

(ある大学生の読み)

M 「残雪の目には、人間もハヤブサもありませんでした。ただ、救わねばならぬ仲間のすがたがあるだけでした」という大造じいさんが見た残雪の姿と関連づけて読み取ってみました。この残雪の姿を見て、大造じいさんはもうびっくりしたと思うのですよね。じいさんが残雪を捕まえるために使ったおとりのガンさえも仲間と思い「いきなり敵であるハヤブサにぶつかっていった残雪」に心奪われてしまって「じゅうを下ろしてしまいました」のだと思います。

O Mさんが言ってくれたここ「残雪の目には、ただ、救わねばならぬ仲間のすがたがあるだけでした」とつなげて考えてみると、じいさんは一や二の場面の自分と比べて仲間のことをひたすら考える「頭領残雪」の純粹さに卑怯な自分が情けなくなって銃を下ろしてしまったのだと思います。

# 何を追求するのか

① お話(ストーリー・筋)を読む

お話が変わる(イメージの変化)

② 登場人物の気持ちを読む

③ 登場人物の言動を読む

<例>

A) 朝起きて、お母さんに「おはよう」と言った。するとお母さんも「おはよう」と言った。

B) 朝起きて、お母さんに「おはよう」と言った。するとお母さんは殴りつけてきた。

ありえない、理解できない行動だからこそ、その時の気持ちを知りたい!

どちらの登場人物の気持ちを考えていますか?

# 追求する対象を見つけるヒント

---

## 言動に関する「変だ、おかしい」

- こんなことはやるはずがないという言動
- 以前の言動とは変わった言動
- 以前の言動とはつじつまが合わない言動
- 突然起こった(予想外の)言動
- 意図的な言動

## 言動の「変だ、おかしい」を考えるヒント

- 無くてもいいのに、わざわざ使っている言葉
- あえて書かれていない言葉
- 他の言葉でもいいのにわざわざ使っている言葉
- 「こ・そ・あ・ど」言葉の示しているものは何か
- 特に、逆接の接続語、助詞、助動詞、副詞、形容詞など
- わざわざ「     」として発話・会話にしてある部分
- 倒置や繰り返し、強調などを使っている部分
- 同じ内容なのに違う書き方に変えられるところ





「ピーターのいす」の教材解釈をやってみよう

(追求の授業の前提)

# 追求する対象を見つけるヒント

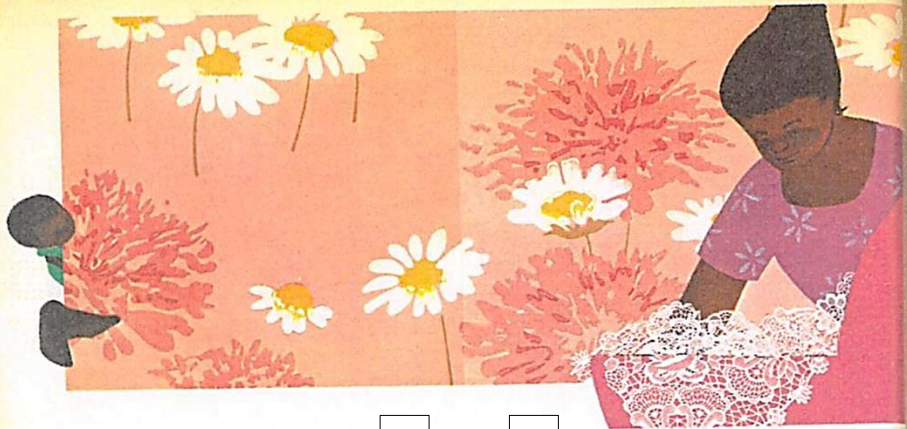
---

## 言動に関する「変だ、おかしい」

- こんなことはやるはずがないという言動
- 以前の言動とは変わった言動
- 以前の言動とはつじつまが合わない言動
- 突然起こった(予想外の)言動
- 意図的な言動

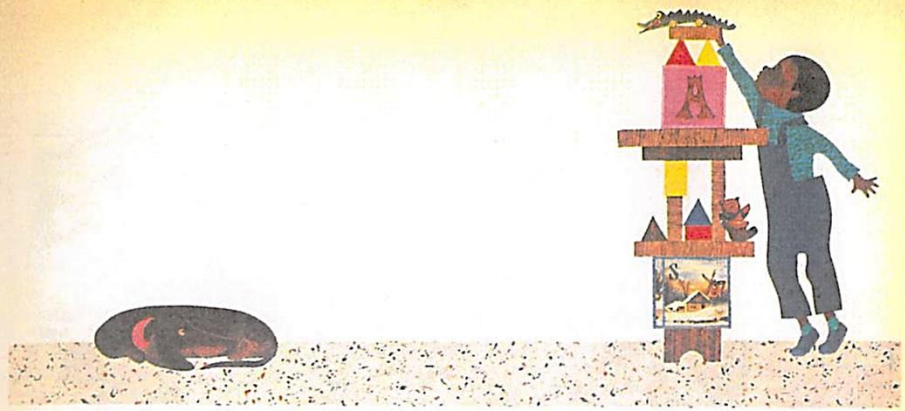
## 言動の「変だ、おかしい」を考えるヒント

- 無くてもいいのに、わざわざ使っている言葉
- あえて書かれていない言葉
- 他の言葉でもいいのにわざわざ使っている言葉
- 「こ・そ・あ・ど」言葉の示しているものは何か
- 特に、逆接の接続語、助詞、助動詞、副詞、形容詞など
- わざわざ「     」として発話・会話にしてある部分
- 倒置や繰り返し、強調などを使っている部分
- 同じ内容なのに違う書き方に変えられるところ



- 「もっと、しずかに あそんでね。うちには、生まれたての 赤ちゃんがいるのよ。」
- 5 ピーターは、いもうとの スージーの へやを、そっと のぞいて みた。
- 6 おかあさんは、ゆりかごの まわりで、大いそがし。
- 「あれ、ぼくの ゆりかごだったのに、ピンクに ぬっちゃった。」

せのび  
ビル  
ガシヤン  
いっぺん  
生まれたて  
スージー  
のぞく  
ゆりかご



- 8 ピーターの いす
- 1 ピーターは、ううんと せのびした。
- 2 そらっ、つみ木の ビルが、できあがり。
- 3 ガシヤン。
- 4 いっぺんに、ぶっこわれた。  
「しいいっ。」  
と、おかあさんの こえ。



## どんなお話でしょう

---

○中心人物は？

○何をしたの？ どうなったの？

## 場面を分けましょう

---

第1場面 ①～⑦

第2場面 ⑧～⑮

第3場面 ⑯～⑳

第4場面 ㉑～㉒

それぞれ、何が書かれていましたか？

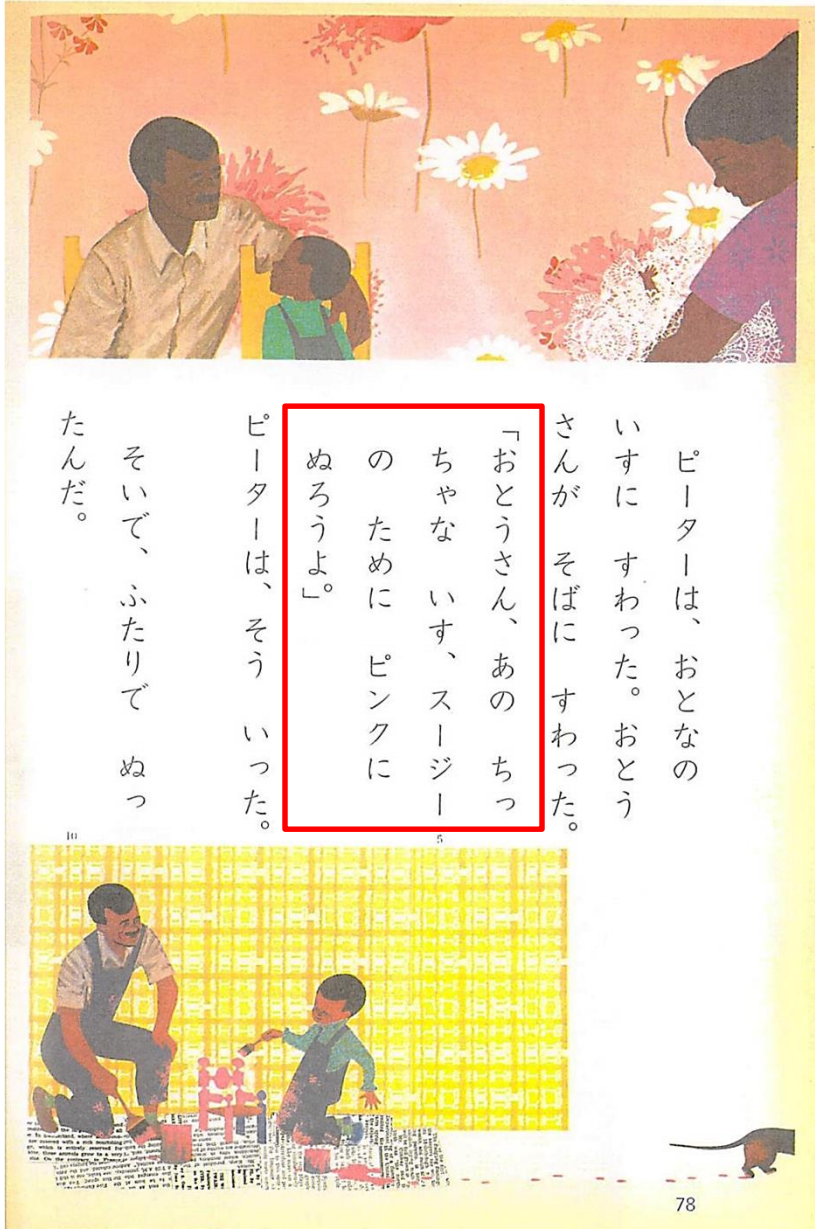
気になる場面、「変だ、おかしい」と思う場面はどれですか？

なぜ、その場面が気になりますか？

# 一番の「変だ、おかしい」

この教材を追求するための中心となる問題

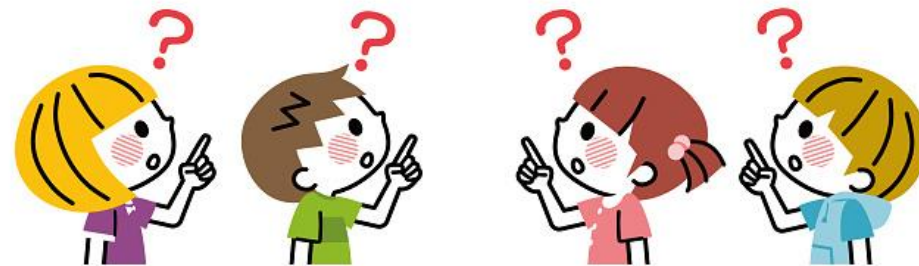
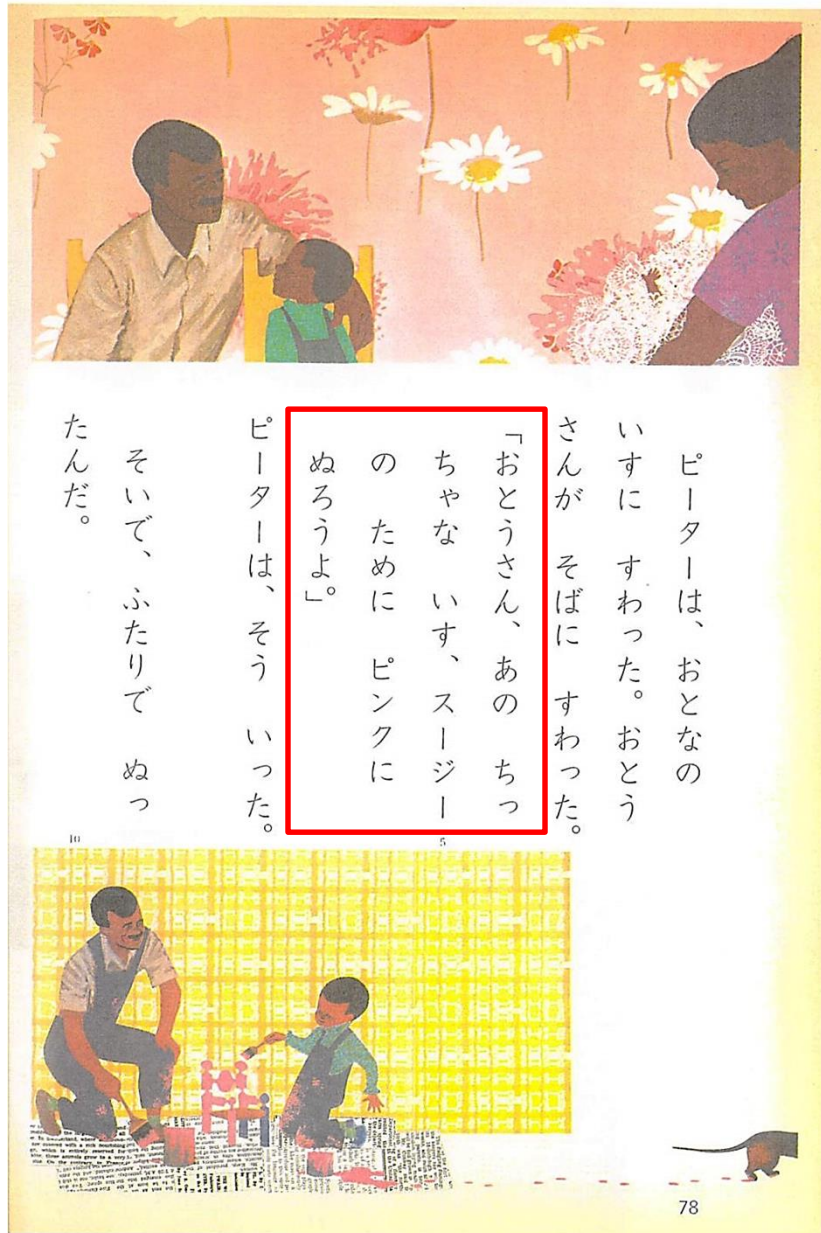
なぜ、「おとうさん、あの ちっちゃないす、スージーのために、ピンクにぬろうよ。」と言ったのか？



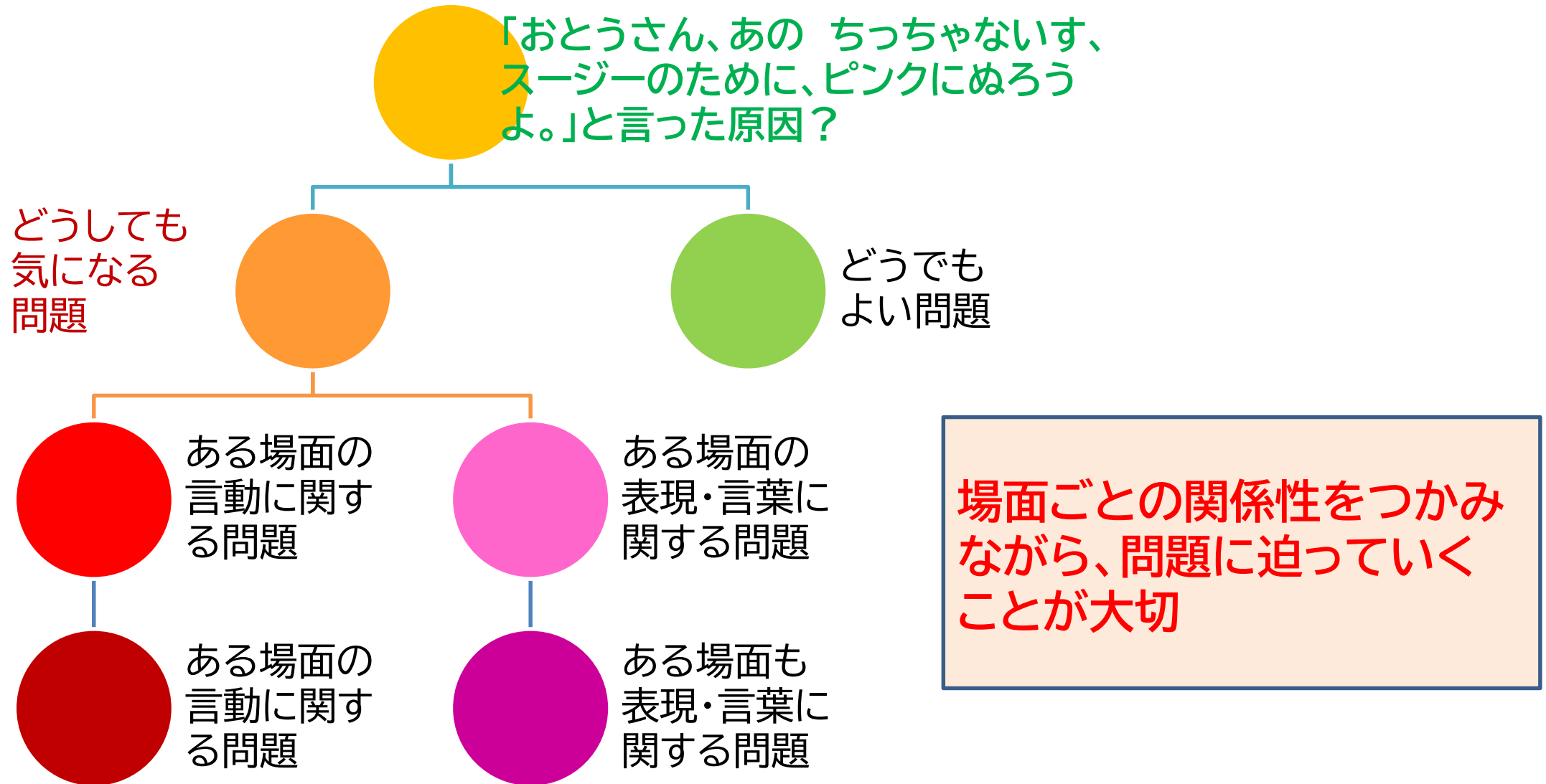
## 一番の「変だ、おかしい」

この教材を追求するための中心となる問題

お父さんの目の前で、いすを持ち上げ、へやにかけていき、家出で持ち出したくらい  
のいすなのに、なぜ、「おとうさん、あの  
ちっちゃないす、スージーのために、ピン  
クにぬろうよ。」と言ったのか？



# 教材の構造





## 自分の考えをもってください

---

お父さんの目の前で、いすを持ち上げ、へやにかけていき、家出で持ち出したくらいのいすなのに、なぜ、「おとうさん、あの ちっちゃないす、スージーのために、ピンクにぬろうよ。」と言ったのか？

### 最終的に

その考えがどう変わるか、または変わらないか。  
この教材のイメージがどう変わるか。  
この教材の隠された内容を見つけられるか。

## その他「言動」に関する問題<例>

---

- ⑤なぜ、スージーのへやをそっとのぞいてみたのか。
- ⑧なぜ、「あれは、まだぬってないぞ」と大きな声をあげたのか。
- ⑨なぜ、「いえ出しよう」と言ったのか。(なぜいえ出したのか。)
- ⑩なぜ、青いいすとおもちゃのわにと、赤ちゃんのときの写真をもっていったのか。
- ⑫なぜ、いえのまえに立ったのか
- ⑫なぜ、「ここがいいや」なのか。
- ⑰なぜ、きこえないふりをしたのか。
- ⑰なぜ、いいことを考えたのか。(「いいこと」とは何か。)
- ⑳なぜ、「こっちだよ。」と言ったのか。(なぜいつもと違うことをしたのか。)
- ㉑なぜ、大人のいすにすわったのか。

## 言葉・表現に関する問題<例>

---

- ④「しいいっ。」と、おかあさんのこえ。
- ⑥大いそがし。
- ⑬すわっていることにした。
- ⑭おしりが、いすに 入らない。
- ⑮なりすぎていたんだ。
- ⑯こえをかけた。
- ⑰かんがえたんだ。
- ⑱うれしそうにそういった
- ⑳でも、おや、ピーターはいない。
- ㉑おとなのいすにすわった。
- ㉑そばにすわった。(おとうさんは、何か言ったのか)
- ㉑あの ちっちゃないす